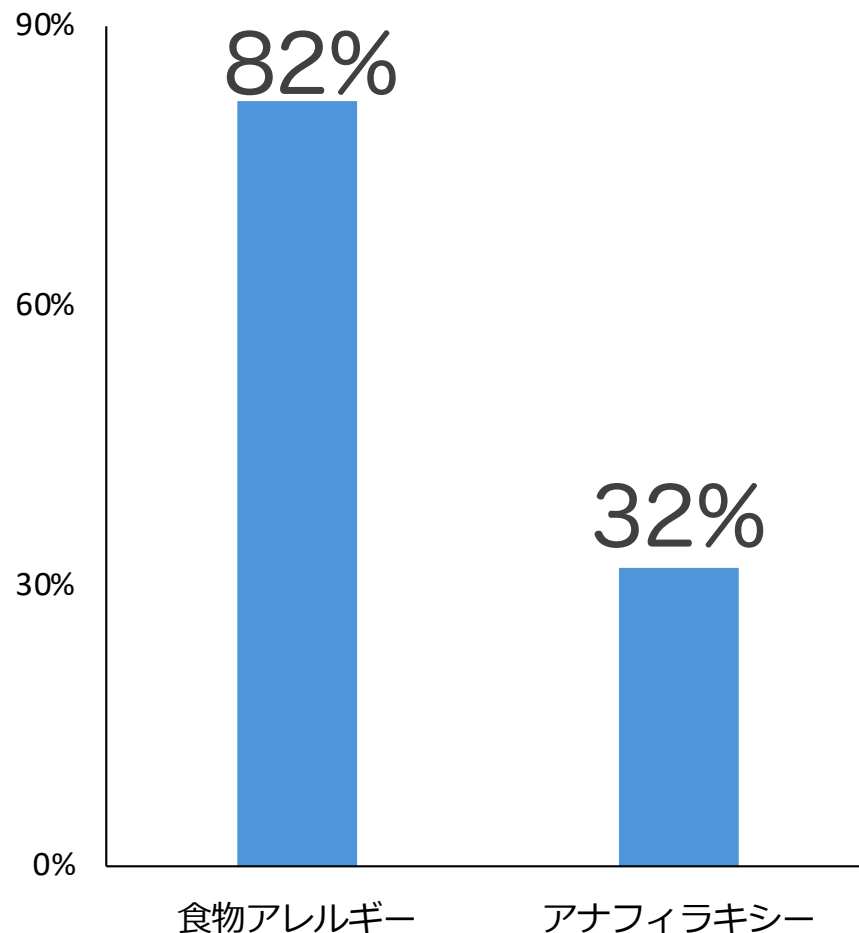


食物アレルギーのある こどもへの対応



長野県立こども病院
小児アレルギーセンター
伊藤靖典

保育園・幼稚園等の8割に 食物アレルギー児が在籍



✓ 食の安心・安全
✓ 適切な対応

平成24年 小学校における 食物アレルギーによる死亡事故

調布市立学校児童死亡事故
検証結果報告書

調布市立学校児童死亡事故検証委員会

平成25年3月

- ✓ 除去食は提供されていたが、おかわりの際の確認が不十分だった
- ✓ エピペンを使用せず初期対応が遅れた
- ✓ 食物アレルギーによるアナフィラキシーであることを考えずに、初期対応を誤った

平成27年12月施行

アレルギー疾患対策基本法

重症化の予防及び症状の軽減

- ・ 知識の普及等
- ・ 生活環境の改善

医療の均てん化の促進等

- ・ 専門的な医療従事者の育成
- ・ 医療機関の整備等

生活の質の維持向上

- ・ 関係機関の連携協力体制
- ・ 国民への情報提供

研究の推進

- ・ アレルギー疾患の研究推進
- ・ 重症化予防、発症予防

✓ 国・地方公共団体にアレルギー疾患対策の責務・実施

児童福祉施設の職員に求められること ー食物アレルギーによる事故を防ぐにはー

- ✓ 食物アレルギーに関する正しい知識を持つ
- ✓ 組織内で情報を共有する仕組み
- ✓ 緊急時の対応を職員すべてが実施できる

保育所における アレルギー対応ガイドライン (2019年改訂版)

保育所におけるアレルギー対応ガイドライン (2019年改訂版)



厚生労働省
2019(平成31)年4月

(参考様式) ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(2019年改訂版)
保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表 (食物アレルギー・アナフィラキシー・気管支ぜん息)

名前 _____ 男・女 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (_____ 歳 _____ ヶ月) _____ 組
提出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

※この生活管理指導表は、保育所の生活において特別な配慮や管理が必要となった子どもに限って、医師が作成するものです。

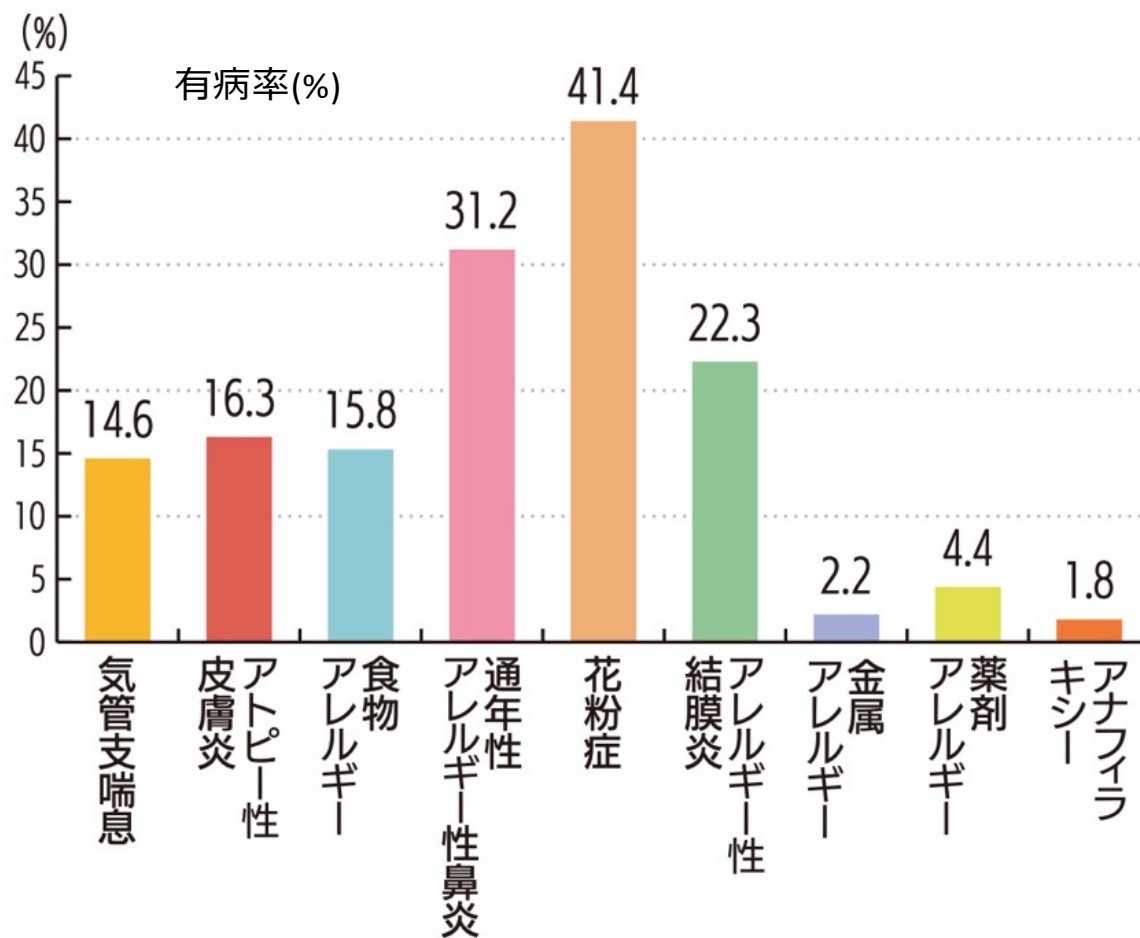
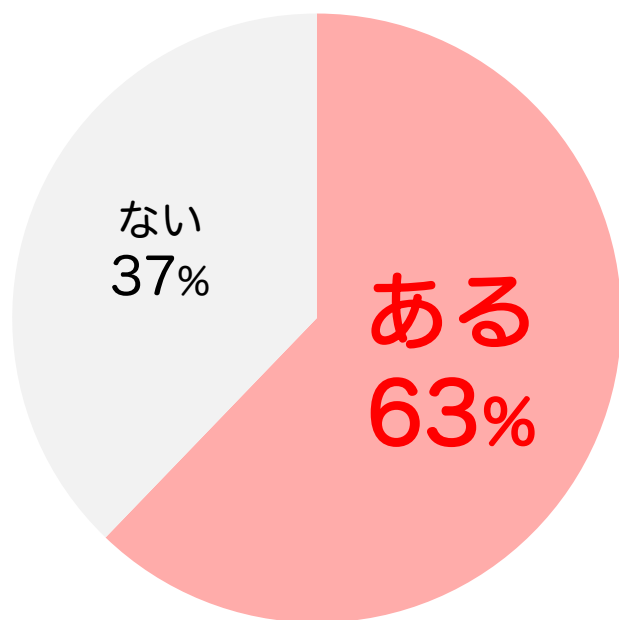
病型・治療		保育所での生活上の留意点		記載日 年 月 日
食物アレルギー (あり・なし) アナフィラキシー (あり・なし)	A. 食物アレルギー病型 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. その他 (新生児・乳児消化管アレルギー・口腔アレルギー症候群・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他) B. アナフィラキシー病型 1. 食物 (原因) 2. その他 (医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・喘息・動物のフケなど) C. 原因食品・除去根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ()内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 () [除去根拠] 2. 牛・乳製品 () 3. 小麦 () 4. ソバ () 5. ビーナッツ () 6. 大豆 () 7. ゴマ () 8. ナッツ類* () 9. 甲殻類* () 10. 穀類・豆類* () 11. 魚卵* () 12. 魚類* () 13. 肉類* () 14. 果物類* () 15. その他 () 「*は()の中の該当する項目に○をするが具体的に記載すること」 D. 緊急時に備えた処方箋 1. 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アドレナリン自己注射薬「エピペン®」 3. その他 ()	A. 給食・離乳食 1. 管理不要 2. 管理必要 (管理内容については、病型・治療のC、D、E欄を参照) B. アレルギー用調整粉乳 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに○、又は()内に記入 ミルフィーHP・ニューMA-1・MA-mi・ベプディエット・エレメンタルフォーミュラ その他 () C. 除去食品においてより厳しい除去が必要なもの 病型・治療のC、D欄で除去の際に、より厳しい除去が必要となるもののみ○をつける ※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。 1. 鶏卵: 卵殻カルシウム 2. 牛・乳製品: 乳糖 3. 小麦: 醤油・酢・味噌 4. 大豆: 大豆油・醤油・味噌 5. ゴマ: ゴマ油 6. 魚卵: かつおだし・いりこだし 7. 魚類: エキス 8. 肉類: エキス D. 食物・食材を扱う活動 1. 管理不要 2. 原因食材を教材とする活動の制限 () 3. 調理活動時の制限 () 4. その他 ()	E. 特記事項 (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談の上記載。対応内容は保育所が保護者と相談の上決定)	医師名 _____ 医療機関名 _____ 電話 _____
	気管支ぜん息 (あり・なし)	病型・治療 A. 症状のコントロール状態 1. 良好 2. 比較的良好 3. 不良 B. 長期管理薬 (短期追加治療薬を含む) 1. ステロイド吸入薬 剤形: 投与量(目): 2. ロイコトリエン受容体拮抗薬 3. DSG吸入薬 4. ベータ2刺激薬 (内服・貼付薬) 5. その他 () C. 急性増悪(発作)治療薬 1. ベータ2刺激薬吸入 2. ベータ2刺激薬内服 3. その他 () D. 急性増悪(発作)時の対応 (自由記載)	保育所での生活上の留意点 A. 寝具に関して 1. 管理不要 2. 防ダニシート等の使用 3. その他の管理が必要 () B. 動物との接触 1. 管理不要 2. 動物への反応が強い場合不可 動物名 () 3. 飼育活動等の制限 () C. 外遊び、運動に対する配慮 1. 管理不要 2. 管理必要 (管理内容) () D. 特記事項 (その他に特別な配慮や管理が必要な事項がある場合には、医師が保護者と相談の上記載。対応内容は保育所が保護者と相談の上決定)	記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師名 _____ 医療機関名 _____ 電話 _____

● 保育所における日常の取り組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容を保育所の職員及び消防機関・医療機関等と共有することに同意しますか。
 ・ 同意する
 ・ 同意しない
 保護者氏名 _____

食物アレルギーの現状

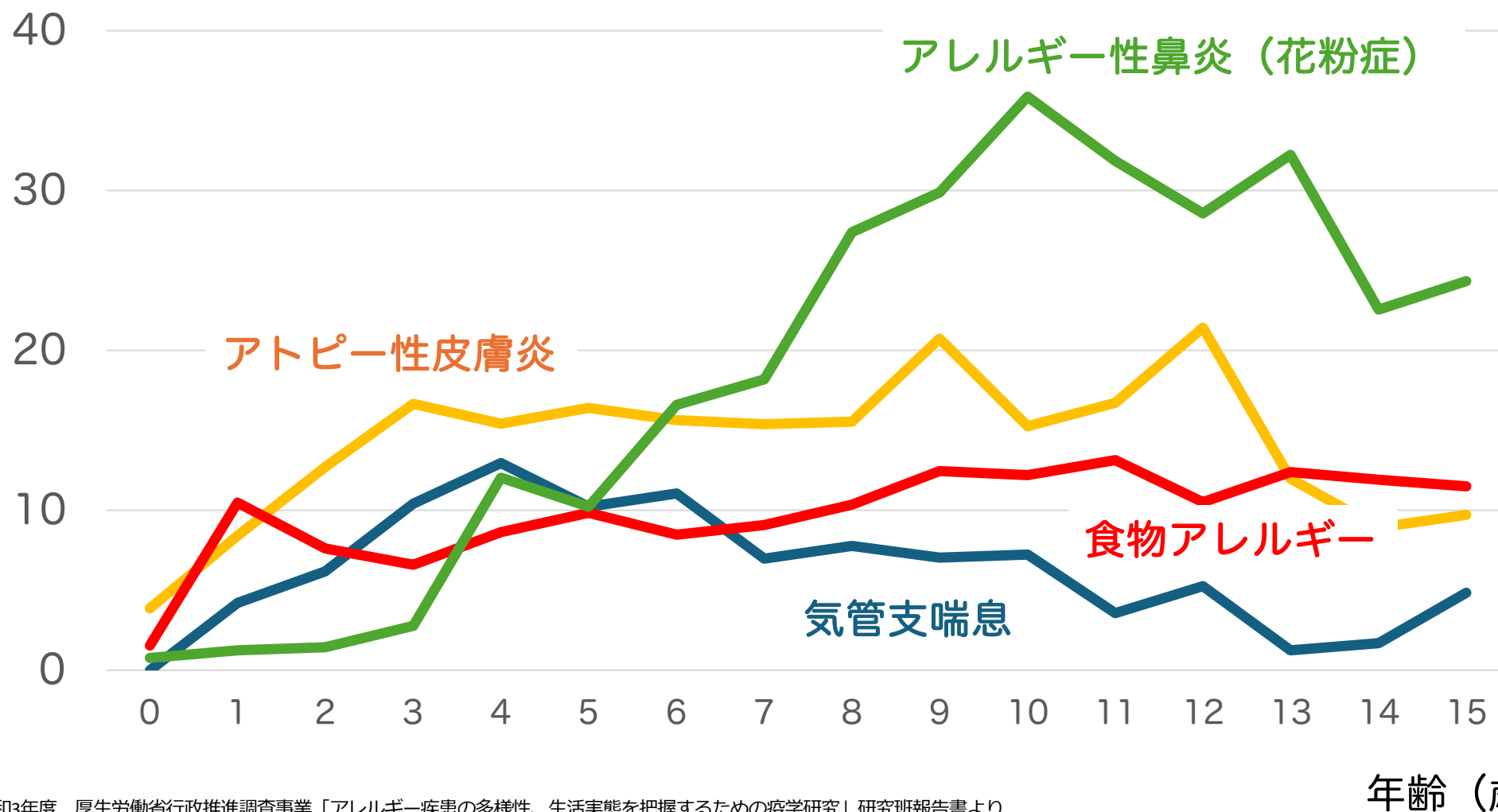
アレルギー疾患の有病率

いずれかのアレルギー疾患
N=24444



こどものアレルギー疾患の有病率

有病率(%)



食物アレルギー 原因食品の変化

2005

	0歳	1歳	2-3歳	4-6歳	7-19歳	>20歳
1位	鶏卵	鶏卵	鶏卵	鶏卵	そば	魚介類
2位	乳製品	乳製品	乳製品	乳製品	えび	えび
3位	小麦	小麦	小麦	小麦	小麦	そば



2021

	0歳	1.2歳	3-6歳	7-17歳	>18歳
1位	鶏卵	鶏卵	木の実類	果物類	甲殻類
2位	乳製品	魚卵類	魚卵類	甲殻類	小麦
3位	小麦	木の実類	落花生	木の実類	魚類

食物アレルギー表示 (令和6年3月末改訂)

特定原材料（8品目）

えび	かに	くるみ	小麦	そば
卵	乳	落花生		

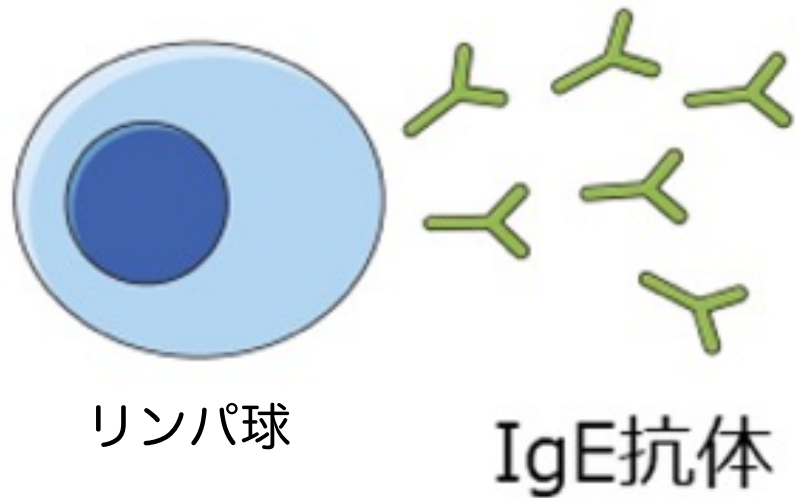
特定原材料に準ずるもの（20品目） まつたけ

アーモンド	あわび	いか	いくら	オレンジ	
カシューナッツ	キウイフルーツ	牛肉	ごま	さけ	
さば	大豆	鶏肉	バナナ	豚肉	やまいも
もも	りんご	ゼラチン	マカダミアナッツ		

食物アレルギーとは

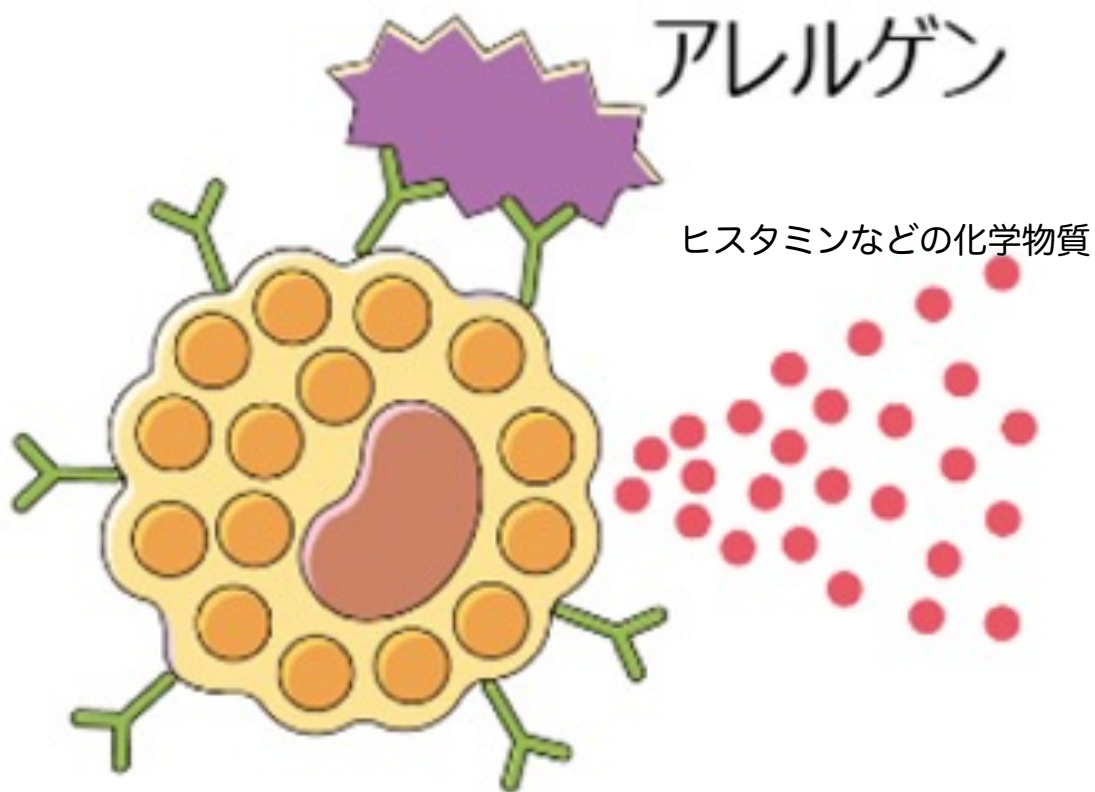


食物アレルギー



食べ物に対する

IgE抗体



アレルゲン
(食べ物)
が結合



アレルギー症状

生活管理指導表に記載されている 食物アレルギーの病型

✓ 即時型症状

✓ 口腔アレルギー症候群

✓ 食物依存性運動誘発アナフィラキシー

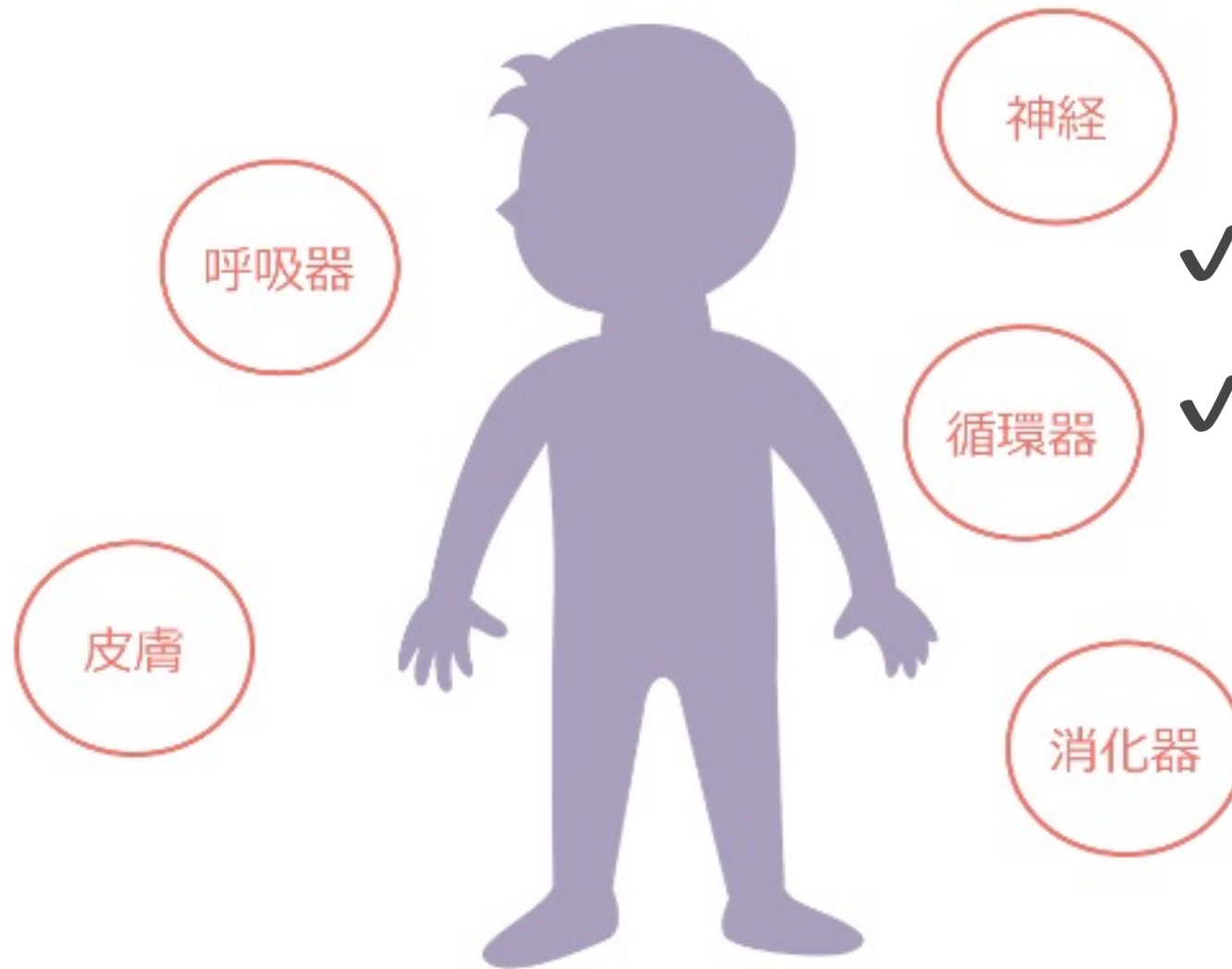
✓ 食物アレルギーの関与するアトピー性皮膚炎

✓ 新生児・乳児消化管アレルギー

A. 食物アレルギー病型

1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎
2. 即時型
3. その他（新生児・乳児消化管アレルギー・口腔アレルギー症候群・
食物依存性運動誘発アナフィラキシー・その他：）

即時型



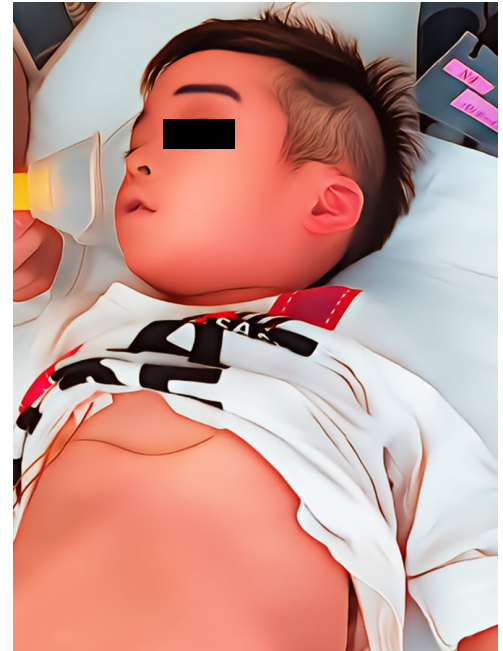
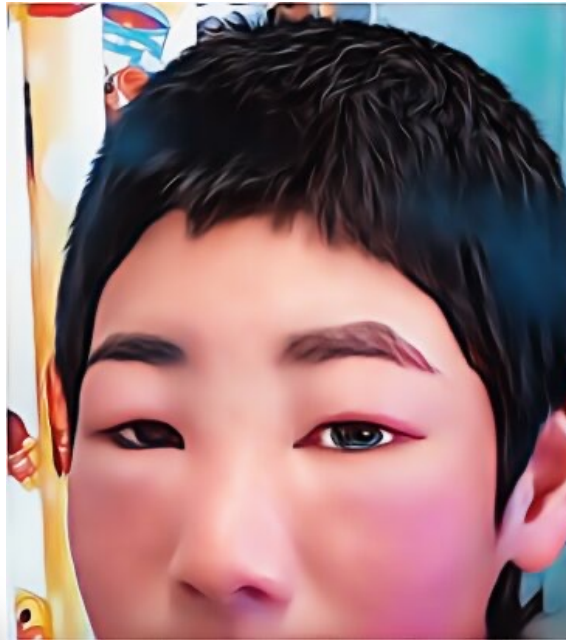
✓ 様々な症状

✓ 発症する時間

数分～
多くは2時間以内

皮膚症状

- ・ じんましん
- ・ 顔が腫れる
- ・ 全身の赤み



画像は生成AIで作成

- ✓ 口周りは数分で症状がでることもある
- ✓ かゆみを伴う

消化器症状

- ✓ 口のかゆみ
- ✓ 腹痛
- ✓ 嘔吐・下痢



重度

- ・がまんできない腹痛
- ・嘔吐を繰り返す

呼吸器症状

- ✓ 鼻水くしゃみ
- ✓ 咳



重度

- ・ のどや胸がしめつけられる
- ・ 声がかすれる
- ・ 犬が吠えるような咳
- ・ 息がしにくい
- ・ ぜいぜいする呼吸
- ・ 持続する強い咳き込み

全身の症状 (循環器・意識)

重度

- ・唇や爪が青白い
- ・ぐったりしている
- ・尿や便をもらす
- ・脈が触れにくい、不規則
- ・意識がもうろうとしている



アナフィラキシー

- ✓ 複数の臓器症状が急速に進行
- ✓ 生命の危険がある
- ✓ 血圧低下、意識障害を伴う場合を
「アナフィラキシーショック」という



アナフィラキシーの診断

1



皮膚・粘膜症状
急速に発症
(数分～数時間)

さらに、少なくとも
次の1つを伴う



重度の呼吸器症状



循環器症状
血圧低下・失神など



重度の消化器症状

2

皮膚症状がなくても、アレルゲンに暴露された後に
血圧低下や重度の呼吸器症状や喉頭症状が出現した場合



喉頭症状：息が吸いにくい、声がれ
飲み込むときに痛いなど



口腔アレルギー症候群

症状

- ・ 口の中・のど の かゆみ
- ・ 摂取してすぐに生じる
～30分程度で改善する
- ・ 乳児では少なく、学童期が多い
- ・ 全身症状は生じない



原因となる食品

- ・ 果物、野菜



花粉・食物アレルギー症候群

花粉症が原因



シラカバ花粉
ハンノキ花粉



バラ科の果物に反応



りんご



もも



さくらんぼ



びわ

加熱に弱い

- ・生の果物・野菜は症状がでる
缶詰、加熱したものでは症状が出ない



食物依存性 運動誘発アナフィラキシー



- ・ 小学校高学年以降、部活などの運動強度が増すと出現することが多い
- ・ もともと牛乳や小麦アレルギーがあったが、日常摂取量はOKとなった場合
- ・ 食後2時間以内が多いが、4時間くらいまでは発症リスクがある

食物アレルギーが関与する 乳児アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎

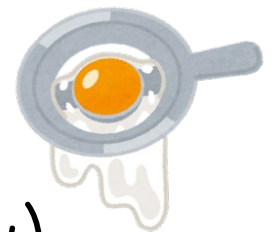
- ・ かゆい湿疹
- ・ よくなったり悪化したり繰り返す

食物の摂取にて皮疹が悪化する場合がある

- ✓ アトピー性皮膚炎の治療が優先（外用剤治療）
- ✓ 即時型症状がなければ食物はなるべく除去しない

新生児・乳児消化管アレルギー (食物蛋白誘発胃腸炎)

- ✓ IgE抗体が関係しない
- ✓ 原因食品を食べて**2-4時間後**に胃腸炎症状が出現する
 - *嘔吐、ぐったり、下痢、発熱など
 - *じんましんや呼吸器の症状はない
- ✓ 乳児期のミルクが多かったが、近年は鶏卵卵黄によるものが増えている
- ✓ 完全除去が原則であり、3歳までに改善することが多い



食物アレルギーの 診断

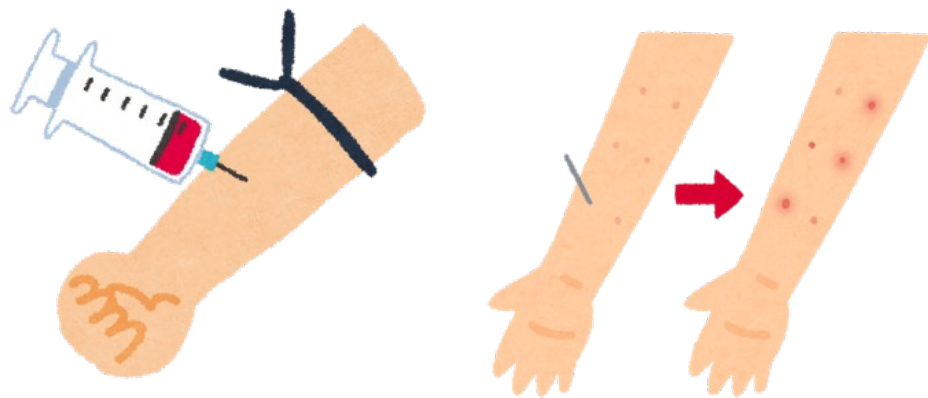


食物アレルギーの診断



1.症状を認める

且つ



血液検査

皮膚テスト

2.検査が陽性

血液検査だけでは
確定診断できません

検査が陽性

食べられる

アレルギーなし

食べたことがない

食物経口負荷試験

食物アレルギーは 個人差がある

症状が誘発される**量**が違う

- ・ほんのわずかな混入でも症状が誘発
- ・ある程度摂取すると症状が誘発



どの**程度**の症状が誘発されるか違う

- ・口の周りのじんましんのみ
- ・全身のじんましん+咳、ゼィゼィなど

- ✓ 程度は血液検査ではわからない
- ✓ 食物経口負荷試験で確認する

確実な診断

明らかな症状の既往

+

検査陽性

食物経口負荷試験陽性

+

検査陽性

食物アレルギーの可能性がある

未摂取

+

検査陽性

アレルゲンコンポーネント

くるみ



Jugr 1

カシューナッツ



Anao 3

ピーナッツ



Arah 2

- ✓ 血液検査のみで誘発される予測が向上
- ✓ ナッツ類はアナフィラキシーを起こしやすい

食物アレルギーの 管理



食物アレルギーの管理

- ・ 原因食品を除去する
- ・ 緊急時に備える

医師による 食物アレルギーの指導



「必要最小限」の除去

- ✓ 症状が出ない量は食べてよい
- ✓ 食べることで慣れることも

「必要最小限」は個人差がある



食物経口負荷試験で評価

- ✓ 食物アレルギーの診断
- ✓ 食べられるようになったか確認
- ✓ 症状が出ない量を評価する

食物経口負荷試験による 段階的解除の例（鶏卵）

加熱卵黄

負荷試験

加熱全卵 約1/30個

負荷試験

加熱全卵 1/8個

負荷試験

加熱全卵 1/2個

負荷試験

加熱1個



卵黄つなぎ



保育園での対応 —完全除去が原則—

【保育所におけるアレルギー対応の基本原則】

○ 全職員を含めた関係者の共通理解の下で、組織的に対応する

- ・アレルギー対応委員会等を設け、組織的に対応
- ・アレルギー疾患対応のマニュアルの作成と、これに基づいた役割分担
- ・記録に基づく取組の充実や緊急時・災害時等様々な状況を想定した対策

○ 医師の診断指示に基づき、保護者と連携し、適切に対応する

- ・生活管理指導表（※）（8頁参照）に基づく対応が必須

（※）「生活管理指導表」は、保育所におけるアレルギー対応に関する、子どもを中心に据えた、医師と保護者、保育所の重要な“コミュニケーションツール”。

○ 地域の専門的な支援、関係機関との連携の下で対応の充実を図る

- ・自治体支援の下、地域のアレルギー専門医や医療機関、消防機関等との連携

○ 食物アレルギー対応においては安全・安心の確保を優先する

- ・完全除去対応（提供するか、しないか）
- ・家庭で食べたことのない食物は、基本的に保育所では提供しない



- ・安全・安心を優先
- ・完全除去対応が原則
- ・未摂取食材は提供しない

食物アレルギーの頻度の多い食材
卵、牛乳、小麦、大豆など

自宅



- ・ 医師の指導による必要最小限の除去

保育園



- ・ 医師による解除の指導があるまでは完全除去が原則

その他 参考となるガイドライン

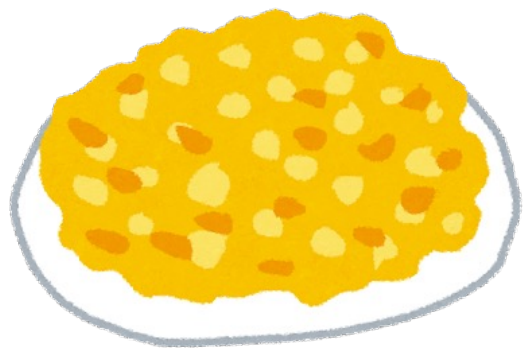
児童養護施設などにおけるアレルギー対応ガイドライン（案）

厚生労働省子ども家庭局 委託事業

「児童養護施設等におけるアレルギー対応に関する調査研究」 報告書に記載

医師が解除指導する目安

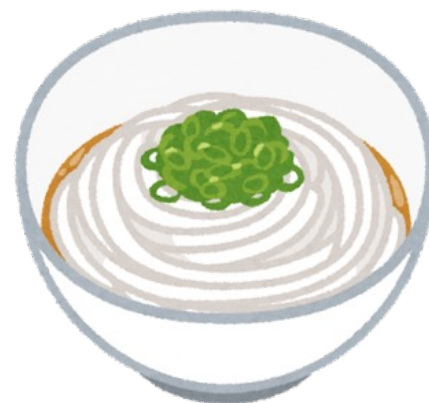
日常摂取量



鶏卵
加熱卵 1 個



牛乳
200ml



小麦
うどん 200g

基本的に除去が不要な食品

鶏卵	卵殻カルシウム
牛乳	乳糖・乳清焼成カルシウム
小麦	しょうゆ・酢・みそ
大豆	大豆油・しょうゆ・みそ
ゴマ	ゴマ油
魚類	かつおだし・いりこだし・魚しょう
肉類	エキス

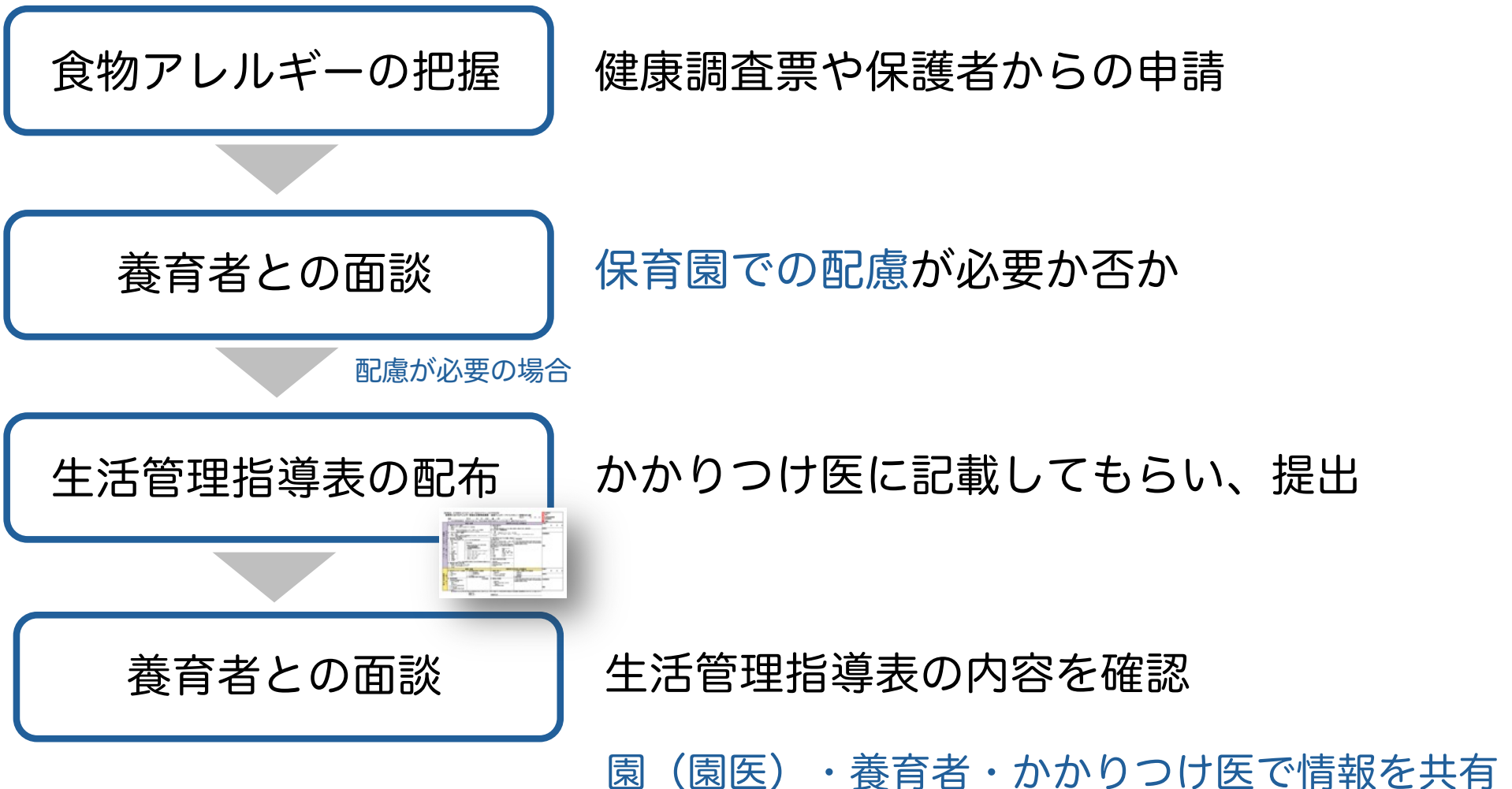
C. 除去食品においてより厳しい除去が必要なもの

病型・治療のC. 欄で除去の際に、より厳しい除去が必要となるもののみに○をつける

※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 鶏卵: | 卵殻カルシウム |
| 2. 牛乳・乳製品: | 乳糖 |
| 3. 小麦: | 醤油・酢・麦茶 |
| 6. 大豆: | 大豆油・醤油・味噌 |
| 7. ゴマ: | ゴマ油 |
| 12. 魚類: | かつおだし・いりこだし |
| 13. 肉類: | エキス |

生活管理指導表を用いた 養育者・児童福祉施設・医師との情報共有



生活管理指導表

把握できること

- ・ 食物アレルギーのタイプ
- ・ 除去が必要な食材
- ・ 緊急時の薬
- ・ 給食や運動での配慮の有無

把握できないこと

- ・ 重症度（症状）
- ・ 自宅での摂取状況



養育者と面談して把握する必要

食物アレルギー児に対する食事提供 保育園や地域の実情に合わせての対応

- ✓ 献立表対応
- ✓ 弁当対応
- ✓ 除去対応
- ✓ 代替食対応
- ✓ 給食で提供しない

- ✓ 施設で無理な対応はしない
- ✓ 基準を作る
→説明をして養育者の同意を
- ✓ 加工品は原材料の確認をする

献立表対応



献立表を見て、養育者が食べない食材を選択して伝える

対応する例

- ・ 果物や魚など、除去しやすい食材
- ・ 提供頻度が少ない食材の場合

注意点

- ・ 養育者の「選択漏れ」によって誤食につながるリスク
- ・ 混ざっている食材の除去はできない
(例：シチューに含まれる特定の野菜など)
- ・ 複数原因食材があると、食べられる食品が少なくなる
→一部弁当対応などが必要になる

弁当対応



完全弁当対応：すべて持参

一部弁当対応：献立表対応にて除去メニューの代わりを持参

対応する例

- ・微量に含まれるコンタミネーションでもリスクがある
- ・使用頻度が高い食材
- ・複数食材の除去が必要な場合

デメリット

- ・養育者の負担
- ・食育の観点

除去表・代替食対応

無配膳：特定のメニューを配膳しない

除去食：特定の食材を使用しないで提供
(かき玉汁に卵を入れない など)

代替食：代わりのメニューを提供
(ヨーグルトの代わりにゼリーを提供 など)



対応する例

- ・ 複数の児童が除去する頻度の多い食材
- ・ 除去食材が単一で調理対応しやすい場合

デメリット

- ・ 調理中のコンタミネーション
- ・ ヒューマンエラー (誤配膳など)

給食で提供しない



食材として使用しない

対応する例

- ・「未摂取」「症状が重度になりやすい」食材
- ・ 提供しなくても栄養価として問題ない食材
ナッツ類、そばなど

注意点

- ・ すべてのこどもが「食べない」ことになる
- ・ 季節的な行事、地域の名産などの食育への影響も
- ・ ヒューマンエラーは起こりにくい
- ・ 施設での配慮が不要になるが、課外活動では注意

粉ミルク

母乳栄養のみの場合は要注意

注意点

- ・ 必ず、自宅で飲めることを確認してから施設で使用する
- ・ 生後1-2ヶ月に混合栄養、その後母乳栄養のみになった場合でも離乳食開始時に牛乳アレルギーを発症することがある



食物アレルギーの 症状に対する対応

皮膚

呼吸器

循環器

消化器



神経

症状に対する治療

✓抗ヒスタミン薬

✓エピペン®注射

✓その他（気管支拡張薬など）

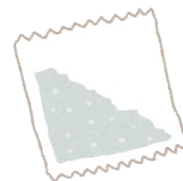
学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）

名前：____（男・女）____年____月____日生 ____年____月____日 提出日：____年____月____日

※この生活管理指導表は、学校の方法において特別に配慮や管理が必要となった場合に提出が作成されるものです。

病型・治療	学校生活上の留意点	備考欄
アレルギー性鼻炎（アレルギー性鼻炎の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性結膜炎（アレルギー性結膜炎の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性皮膚炎（アレルギー性皮膚炎の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性喘息（アレルギー性喘息の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性胃腸炎（アレルギー性胃腸炎の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性腸炎（アレルギー性腸炎の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性腎臓病（アレルギー性腎臓病の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性肝臓病（アレルギー性肝臓病の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性膵臓病（アレルギー性膵臓病の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄
アレルギー性膵臓病（アレルギー性膵臓病の疑いのある場合のみ記入） 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	症状 1. 症状 2. 診断 3. 治療 4. その他	※備考欄 記入欄

抗ヒスタミン薬



- 効果が現れるまでに30分～60分かかります
- じんましんには効果がありますが
咳、腹痛、ぐったりなどの症状には効きません
- 保育園でこどもに薬を与える場合は、医師からの指示（与薬依頼票）に従って、適切に使用する

アドレナリン自己注射薬 (エピペン®)

- ✓ 血圧を上げる
- ✓ 気管支を広げる
- ✓ じんましんをおさえる
- ✓ 腹痛を改善させる
- ✓ すぐに効く（数分～）



体重が15kgから処方可能
＊ 3歳前後

救急救命士は患児に処方されているエピペン®は使用できる エピペン®がない場合は、病院収容までは治療できない

救急救命士による救急救命処置

(平成4年指第17号「救急救命処置の範囲等について」 改正:平成26年1月31日 医政指発0131第1号)

医師の 具体的指示 (特定行為)	・ 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液 (※) ・ 食道閉鎖式エアウェイ、ラリングアルマスク及び気管内チューブによる気道確保 (※) ・ エピネフリンを用いた薬剤の投与 (※) ・ 乳酸リンゲル液を用いた静脈路確保及び輸液 ・ 低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与 ※は心肺機能停止状態の患者に対してのみ行うもの		
医師の 包括的な指示	<table border="0"> <tr> <td> ・ 精神科領域の処置 ・ 小児科領域の処置 ・ 産婦人科領域の処置 ・ 自動体外式除細動器による除細動* ・ 自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリン投与 (エピネフリンはエピペン®のことです) ・ 血糖測定器を用いた血糖測定 ・ 聴診器の使用による心音・呼吸音の聴取 ・ 血圧計の使用による血圧の測定 ・ 心電計の使用による心拍動の観察及び心電図伝送 ・ 鉗子・吸引器による咽頭・声門上部の異物の除去 ・ 経鼻エアウェイによる気道確保 ・ パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の測定 ・ ショックパンツの使用による血圧の保持及び下肢の固定 ・ 自動式心マッサージ器の使用による体外式胸骨圧迫 ・ 心マッサージの施行 </td><td> ・ 特定在宅療法継続中の傷病者の処置の維持 ・ 口腔内の吸引 ・ 経口エアウェイによる気道確保 ・ バッグマスクによる人工呼吸 ・ 酸素吸入器による酸素投与 ・ 気管内チューブを通じた気管吸引 ・ 用手法による気道確保 ・ 胸骨圧迫 ・ 呼気吹き込み法による人工呼吸 ・ 圧迫止血 ・ 骨折の固定 ・ ハイムリック法及び背部叩打法による異物の除去 ・ 体温・脈拍・呼吸数・意識状態・顔色の観察 ・ 必要な体位の維持、安静の維持、保温 </td></tr> </table>	・ 精神科領域の処置 ・ 小児科領域の処置 ・ 産婦人科領域の処置 ・ 自動体外式除細動器による除細動* ・ 自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリン投与 (エピネフリンはエピペン®のことです) ・ 血糖測定器を用いた血糖測定 ・ 聴診器の使用による心音・呼吸音の聴取 ・ 血圧計の使用による血圧の測定 ・ 心電計の使用による心拍動の観察及び心電図伝送 ・ 鉗子・吸引器による咽頭・声門上部の異物の除去 ・ 経鼻エアウェイによる気道確保 ・ パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の測定 ・ ショックパンツの使用による血圧の保持及び下肢の固定 ・ 自動式心マッサージ器の使用による体外式胸骨圧迫 ・ 心マッサージの施行	・ 特定在宅療法継続中の傷病者の処置の維持 ・ 口腔内の吸引 ・ 経口エアウェイによる気道確保 ・ バッグマスクによる人工呼吸 ・ 酸素吸入器による酸素投与 ・ 気管内チューブを通じた気管吸引 ・ 用手法による気道確保 ・ 胸骨圧迫 ・ 呼気吹き込み法による人工呼吸 ・ 圧迫止血 ・ 骨折の固定 ・ ハイムリック法及び背部叩打法による異物の除去 ・ 体温・脈拍・呼吸数・意識状態・顔色の観察 ・ 必要な体位の維持、安静の維持、保温
・ 精神科領域の処置 ・ 小児科領域の処置 ・ 産婦人科領域の処置 ・ 自動体外式除細動器による除細動* ・ 自己注射が可能なエピネフリン製剤によるエピネフリン投与 (エピネフリンはエピペン®のことです) ・ 血糖測定器を用いた血糖測定 ・ 聴診器の使用による心音・呼吸音の聴取 ・ 血圧計の使用による血圧の測定 ・ 心電計の使用による心拍動の観察及び心電図伝送 ・ 鉗子・吸引器による咽頭・声門上部の異物の除去 ・ 経鼻エアウェイによる気道確保 ・ パルスオキシメーターによる血中酸素飽和度の測定 ・ ショックパンツの使用による血圧の保持及び下肢の固定 ・ 自動式心マッサージ器の使用による体外式胸骨圧迫 ・ 心マッサージの施行	・ 特定在宅療法継続中の傷病者の処置の維持 ・ 口腔内の吸引 ・ 経口エアウェイによる気道確保 ・ バッグマスクによる人工呼吸 ・ 酸素吸入器による酸素投与 ・ 気管内チューブを通じた気管吸引 ・ 用手法による気道確保 ・ 胸骨圧迫 ・ 呼気吹き込み法による人工呼吸 ・ 圧迫止血 ・ 骨折の固定 ・ ハイムリック法及び背部叩打法による異物の除去 ・ 体温・脈拍・呼吸数・意識状態・顔色の観察 ・ 必要な体位の維持、安静の維持、保温		

正しく持つ



エピペン®の接種部位



- ✓ 太ももの外側の筋肉に摂取する
- ✓ 振り下ろさずに軽く当ててから強く押す

エピペン®を 使用するべき症状

消化器 の症状



繰り返し吐き続ける



持続する強い（がまんできない）腹痛

呼吸器 の症状



のどや胸が
締め付けられる



犬が吠える
ような咳



ゼーゼー
する呼吸



声がかすれる



持続する
強い咳込み



息がしにくい

全身 の症状



唇や爪が青白い



尿や便を漏らす



ぐったりしている



脈が触れにくい・
不規則



意識がもうろうと
している

チェックシートを活用する

F 症状チェックシート		
◆症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに、注意深く症状を観察する ◆☐の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する (内服薬を飲んだ後にエピペン®を使用しても問題ない) 観察を開始した時刻(時 分) 内服した時刻(時 分) エピペン®を使用した時刻(時 分)		
全身の症状	☐ ぐったり ☐ 意識もうろう ☐ 尿や便を漏らす ☐ 顔が熱にくいまたは不規則 ☐ 唇や爪が青白い	
呼吸器の症状	☐ のどや胸が締め付けられる ☐ 声がかすれる ☐ 犬が吠えるような咳 ☐ 息がしにくい ☐ 持続する強い咳き込み ☐ ゼーゼーする呼吸	☐ 数回の軽い咳
消化器の症状	☐ 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み ☐ 繰り返し吐き続ける	☐ 中等度のお腹の痛み ☐ 1～2回のおう吐 ☐ 1～2回の下痢
目・口・鼻・顔面の症状		☐ 軽いお腹の痛み(がまんできる) ☐ 吐き気
皮膚の症状	☐ 顔全体の腫れ ☐ まぶたの腫れ	☐ 目のかゆみ、充血 ☐ 口の中の違和感、唇の腫れ ☐ くしゃみ、鼻水、鼻づまり
上記の症状が1つでもあてはまる場合 1つでもあてはまる場合 1つでもあてはまる場合		
①ただちにエピペン®を使用する ②救急車を要請する(119番通報) ③その場で安静を保つ (立たせたり、歩かせたりしない) ④その場で救急隊を待つ ⑤可能な限り内服薬を飲ませる ①内服薬を飲ませ、エピペン®を準備する ②速やかに医療機関を受診する (救急車の要請も考慮) ③医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、☐の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する ①内服薬を飲ませる ②少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する		
⑤ 緊急性の判断と対応 ⑤-2参照 ただちに救急車で医療機関へ搬送 速やかに医療機関を受診 安静にし、注意深く経過観察		

- ✓ 症状を確認
- ✓ エピペン®の適用
- ✓ 記録する

アレルギーポータル

アレルギーポータル

アレルギーについて、
正しい知識を身につけて疾患の
治療、管理、予防をしましょう。

アレルギーに関する様々な情報を集めたポータルサイトです。
アレルギーの症状や治療方法、相談できる専門医や
災害時の対応方法の情報等が集約されています。



アレルギーについて



よくある質問



医療機関情報



アレルギーの本棚



災害時の対応



日本の取り組み



研修・講習会・
eラーニング



都道府県のサイト



研修・講習会・ eラーニング

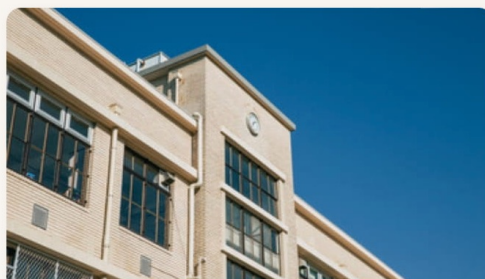
日々の診療に役立つ研修や講習会の
情報をまとめています。



患者さん・一般の方向け

患者さんやご家族に役立つ
情報をまとめています。

[詳しくはこちら >](#)



行政・学校関係者の方向け

行政・学校関係者の方向けの
情報をまとめています。

[詳しくはこちら >](#)



医療従事者の方向け

医療従事者の方向けの
情報をまとめています。

[詳しくはこちら >](#)



研修・講習会・
eラーニング

行政・学校関係者の方向け

食物アレルギーセミナー ”安全で安心な子どもの笑顔を守る 食の未来”(2024年度)

食物アレルギーのある乳幼児・小児を取り巻くすべての方向けのセミナーが12/1(日) 12:00から予定されています。会場参加、Web配信とも、申込は11/7(木)締切となっています。

[詳しくはこちら](#) 

食物アレルギーによって 起こる症状と治療について

食物アレルギーの症状とその治療法を学ぶ研修用スライドです。アナフィラキシーに対処するための動画も掲載されています。

[ダウンロードする](#)

アレルギー 相談員養成研修会

アレルギー疾患に関して患者やその家族と接する機会が多いアレルギー専門医以外の医師、看護師、保健師、薬剤師、栄養士などを対象としています。

[詳しくはこちら](#) 

成育アレルギー中心拠点病院オ ンラインセミナー

毎月1回開催されるオンラインセミナーで、アレルギーに関心のある医療従事者の方が対象です。

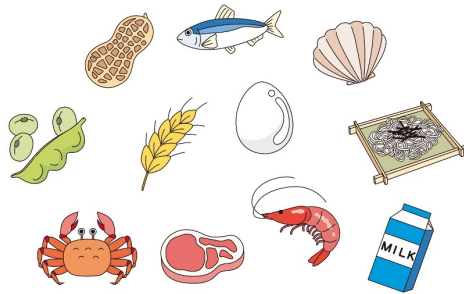
生まれてくるお子さん のためのアレルギー予防 オンライン教室

妊娠中から正しいアレルギーに関する知識を身につけていただくため、定期的に行われています。主に妊婦さんとそのパートナーの方が対象となっています。

文部科学省補助事業 アレルギー講習会 (学校における普及啓発講習 会)

学校現場においてのアレルギー対応の充実を図るための講習会です。

食物アレルギーによって起こる 症状と治療について



一般社団法人
日本アレルギー学会
Japanese Society of Allergy

このスライドは、厚生労働省アレルギー情報センター事業にて作成しました。

- ・無料でダウンロード可能
- ・PowerPointスライド
- ・施設の研修でも使用可能
- ・クイズなどもあり

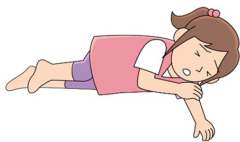
Q1

鶏卵アレルギーと診断されている女兒。
おやつを食べたあとに「気持ちが悪い」といい出しました。
お菓子里に記載されている成分表を確認したところ、鶏卵が含まれていることに気づきました。
その後、急に嘔吐しました。
会話は問題なく可能で、顔色も悪くありません。

適切な体位は？

1

体と顔を横に
向ける。



2

仰向けにして
足を高くする。

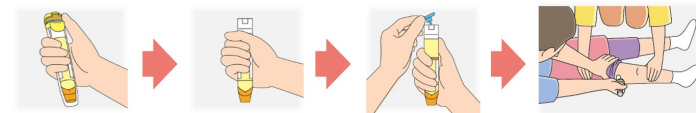


3

上半身を
起こす。



アドレナリン自己注射薬の使用方法



ケースから取り出す。

グーで握る。
オレンジの側から針が出る。

安全キャップをはずす。

ふとももの中心から少し外側に
当てて強く押し、数秒間保持する。

使用法を忘れてしまったら自己注射薬本体のラベルを確認しましょう。

- 介助者なしでアドレナリン自己注射薬を使用する場合は、子どもが動かないようにしっかりと固定する必要があります。



膝関節をしっかりと
押さえて、接種する
場所がずれないように
する。



介助者がいるとき
は、ふとももの付け
根と膝をしっかりと
押さえる。

アレルギー症状の動画



- ・ 2つのシナリオ
- ・ アドレナリン自己注射薬を使用するタイミングをクイズ形式で学べる

まとめ

- ✓ 食物アレルギーの正しい知識を持ってください
- ✓ 組織内でアレルギーの情報を共有してください
- ✓ 緊急時の対応が職員すべてが実施できるように
定期的な研修をお願いします